

# Yumeken

# 秋

2014 Vol.662

◆特集○話題の焦点

**徹底リサーチ『滋賀県建設業協会』  
建設業の役割、協会の取り組みを伝える広報活動を目指して**

◆夢インタビュー

**知識や経験を活かして学び合い、地域に貢献する退職シニアの会**

◆第20回夢けんせつフォトコンテスト

**受賞作品紹介**

◆おじゃまします

**株式会社 宮本組**





# 徹底リサーチ『滋賀県建設業協会』 建設業の役割、協会の取り組みを伝える広報活動を目指して

一般社団法人滋賀県建設業協会は昭和13年(1938年)9月に、滋賀県土木建築業組合として設立しました。以来、さまざまな課題や困難に直面しながら激動の時代を乗り越え、県民生活の基盤となる社会資本整備を担う湖国の建設業とともに歩んできました。建設業が現在かかえる課題への対応、県内建設業の健全な発展のために滋賀県建設業協会が果たす役割や、雇用促進、イメージアップにつながる広報活動のあり方について、本庄浩二会長にお話をうかがいました。



災害時の炊き出しに役立つかまどベンチづくり

昨年9月の台風18号による災害に対して、多くの会員企業が復旧活動を行った。

本庄 浩二 会長

重機とマンパワーを持っている建設業にできないことという自負があり、何かあったらまず駆けつけるのは私たちなんだと思っています。

台風18号では、県から防災協定に基づく出動要請があり、各支部も市町村からの要請を受け、災害復旧に出動しました。

ただ、災害の救助・復旧でも、自衛隊やボランティアの活動風景はメディアで度々報道されますが、残念なことに地元建設業の活動についてはほとんど知られることがありません。

「昨年、台風18号が滋賀県内に大きな被害をもたらした際にも、地元建設業者の方がたくさん現場に駆けつけたそうですね。」

社会資本整備という大きな役割を担っているだけでなく、雇用の創出など地域経済への影響も少なくない建設業ですが、その必要性が一般市民に正しく理解されていないようで、未だに負のイメージが大きいことが課題です。

ただ、最近になって少しインフラ整備やそれを担う建設業の必要性が見直されてきたように思います。きっかけとなったのは東日本大震災ではないかと思えます。さらに最近の台風や豪雨の際の災害復旧活動などに、建設業が果たす役割が少しは知られるようになったのではないのでしょうか。

### 地域とともに歩む建設業の活動 第三者からの発信に期待

「安心安全な社会を築くため建設業は大きな役割を果たしてきましたが、必ずしもその実績が正しく評価されているとは言えませんね。」

公共事業は安全な地域社会や市民の豊かな暮らしを実現するために行われるものですが、いつの間にか、環境破壊や、税の無駄遣いといったマイナスイメージが先行するようになっています。

昔は街中で道路工事をしていると、地元の人々がお茶やお菓子を差し入れてくれたそうです。それだけ道路ができることへの住民の期待、完成したら暮らしが良くなるという期待が大きかったんだと思います。それが安全面への配慮などから、現場に人を寄せ付けなくなると、何をしてくれるかわらなくなっただけだと思います。本

「—そのところがなかなか市民のみなさんには伝わっていないようですね。」

災害時だけでなく積雪地帯では、地元の建設業者が日常的に道路の除雪作業を行っていることもほとんど知られていません。



会員企業が献身的に台風18号の応急復旧活動を行ったことに対して、平成26年7月24日一般社団法人全国建設業協会の近藤晴貞会長より、建設業社会貢献活動功労者表彰・災害復旧支援活動(部門)が授与されました。同部門での表彰は、滋賀県のほか、京都・綾部支部、群馬、山梨、新潟の5協会のみです。

## 湖国 街かどウォッチング

新しく便利になった街や施設をレポートするコーナーです。

### 石山紫の道(大津市)

京阪石山寺駅から石山寺東大門へと続く表参道は約800m。平成24年に電線が地中化されましたが、「もっと美しい参道にして訪れる参拝者をもてなしたい」という気運が地域住民の中に強まっていたことから、緑化事業を推進することになりました。

紫式部が参籠して源氏物語の構想を練り、物語を書き始めたという石山寺の参道を、その源氏物語に登場するさまざまな草花で彩り、紫式部が生きた平安時代に想いを馳せられるような魅力あふれる参道を目指しています。



景観を再現するために、特定非営利活動法人「石山名月の会」では、株式会社辻井造園と大阪芸術大学環境デザイン学科生とともに、「石山紫の道計画」の策定に取り組みできました。

計画では、参道を「おもてなしエリア」「和歌エリア」「源氏エリア」「藤裏葉エリア」「曲水エリア」「藤裏葉エリア」の6エリアに分け、エリアごとに特徴のあるモノメントや草木を配して、そこを歩くうちに奥深い源氏物語の魅力に触れることができるようになっています。

昨年、第24回「緑の環境デザイン賞」国土交通大臣賞を受賞したことで、整備費用の一部となる助成を受け、計画を実施することができました。全6区間のうち、26年1月に着工した「せせらぎエリア」と「曲水エリア」の約240mが、この3月に完成しました。



平安時代に宮中で行われた「曲水の宴」をテーマにした「曲水エリア」

維持管理と未着工部分の整備については、石山名月の会が核となり、地域住民や市民に協力を呼びかけて、植物の植え付け・育成・管理に協力する「紫の道力一デナー」を募るほか、今後の計画推進・景観維持に必要な活動資金のための寄付を募集しています。地域住民を巻き込んだ魅力ある街づくりとして、今後の展開にも注目が集まっています。



特定非営利活動法人 石山名月の会  
大津市石山寺3丁目2番28号  
一般社団法人石山観光協会内  
☎ 077-537-1105  
http://www.murasakino-michi.com/

## CONTENTS

湖国街かどウォッチング	2
石山紫の道	2
特集・話題の焦点	3
徹底リサーチ『滋賀県建設業協会』 建設業の役割、協会の 取り組みを伝える広報 活動を目指して	3
夢インタビュー	6
知識や経験を活かして学び合い 地域に貢献する退職シニアの会 栗東ふあぜーず倶楽部	6
ビジネス最前線	7
おしゃれで使いやすいヨシの 環境紙製品「リエデン・シリーズ」	7
第20回	8
夢けんせつフォトコンテスト	8
<b>受賞作品紹介</b>	8
おしゃまします	14
株式会社宮本組	14
近江建築探訪	16
錯塚堤	16
「仕事の達人・遊びの達人」…… 奥の深い心のスポーツ 「競技射撃」に魅せられて 大伴 浩史	17
バスル	18
取材てほれ話	18
近江つまいもの紀行	18
夢けんひろば	19
編集後記	19
表紙写真	19
「高い所はおまかせ」木原 雄三 「朝のいな堂」岸岡 一彦	19



## 広報活動のこれから

広報委員長 鈴川一行

公共事業と聞くと「税金の無駄遣い」「自然破壊」というイメージを抱く人が少なからずおられますので、公共事業そのもののイメージアップが必要です。建設業界ではこれまであまり声をあげてこなかったためか、生活を豊かにしたり、災害を起こさないための投資であるということが正しく伝わっていません。道路や橋、ダムを建設したり、あるいは補修工事を行う場合、これはこういった目的の工事であり、こういったリスクを回避できる、こんな技術を使って環境にも配慮しているといったことを、きちんと発信する必要があります。

協会としても「こういったことに留意して、広報活動に取り組んでいくことが求められている」と思います。例えば、広報誌「夢けんせつ」については、協会の取り組みを紹介する「夢けんせつ」を拡張するとして、協会がどんな目的でこのような活動をしているかを、もっときめ細かに広報していきたいと考えています。「夢けんせつ」だけでなく、フェイスブックやホームページを有効利用し、協会のフェイスブックの情報を月に一度集計したものをホームページに掲載し、半年に一度発行する「夢けんせつ」でまとめるという広報の流れを作りたいと考えています。



今年20回を迎えるフォトコンテスト(左)と年2回発行の広報誌「夢けんせつ」

したことがありますが、参加された方は高い技能と先端技術を駆使して工事が行われていることを知って、少なからず感動し興味を持たれたようでした。

この「夢けんせつ」では、協会のさまざまな取り組みをはじめ、業界のこと、会員企業やそこで働く人のことをもと取り上げてほしいと思います。建設業に関心を持っていただければ必ずその必要性を理解していただけるはずです。会員にも一般の読者のみなさんにも、役立つ情報を発信して、建設業の大切さをPRしてほしいと考えています。

来公共工事は市民生活に一番近い事業であるはずなのに、ほとんど遠ざかっているのが残念です。最近になって、行政と業界が連携して県民への啓発活動を行う必要があるということ、県のほうから言われるようになりました。建設業界から「こんなに活躍しています」とPRするのはなく、第三者から建設業者の活動や大切さを市民に発信してもらったことが大切だと思います。そのためにもどんな方法が有効かを考えていく必要があります。先日、例えば県のホームページなどに建設業のことを取り上げてもいいかというお話をしました。

どうしてもイメージ的なことが大きいと思います。協会がイメージアップに取り組むことも大切ですが、最終的には個々の会員さんのミラルの問題ではないかと思えます。市民から一番見られているのは現場で仕事をしている人なんです。協会でもいくつ事業をやっても、現場がきちんとしていないとイメージは改善しません。安全意識は業界あげての働きかけでぜひ向上しましたが、それと同じように長い時間がかかると思いますが、イメージも変えることができるはずです。



広告塔として情報発信に活用されている滋賀県建設業協会の建物「夢けんプラザ」

人材確保に苦労しておられるのも、いわゆる3Kのイメージが強いからでしょうか。

### 建設業の今と未来を発信 広報誌「夢けんせつ」の果たす役割

協会としての広報活動について、はたどのように考えておられますか。



青年会議が実施した高校生のための現場見学会

人と環境にやさしい工事のためのCESA環境プログラム

## 滋賀県建設業協会の事業活動

本部と県内8支部からなる滋賀県建設業協会は、技術力の向上や安全確保、環境問題への取り組みのほか、建設業界のイメージアップや雇用促進を図るため、以下のようにさまざまなイベントや事業を実施しています。

### I. 主な活動

1. 災害対策を迅速に行うための災害協定の締結や、災害マニュアルの見直し、行政等と連携した防災訓練への参画、BCP(事業継続計画)認定取得の支援を行います。
2. 労働災害を誘発する過度な業務優先姿勢をなくするため、安全衛生講習会を増加して、大切な人材を労災から守ります。
3. 魅力ある労働環境づくりに向けた取組(社保未加入対策や労働者の処遇改善等)の推進による、人材確保と雇用改善を実現します。
4. 工事請負契約書における暴力団排除条項の導入を徹底するとともに、県民参加の暴力団追放大会を主催して反社会的勢力を排除します。
5. 建設技術者の技術力確保と資質の維持向上を図るための研修会・講習会を、主として夢けんプラザで開催しています。
6. 小学校諸施設の整備や公共施設、インフラ、里山等の環境美化活動や地域とのふれあい活動、交通遺児等への寄付金の授与を行っています。
7. 公益法人変更に関する研究と、一般社団法人である本会が実践すべき公益支出の計画的運用を行います。

### II. その他の取り組み

1. 意見要望事業について
2. 会員企業の経営基盤強化の支援
3. 業界の将来ビジョンに関する調査研究
4. 会員企業、他団体相互の交流連携
5. 法令順守の徹底
6. 本会々員の増強
7. 事務受託事業の推進
8. 諸用紙販売事業への取り組み
9. 賃貸事業の取り組み
10. 新たな収益事業の研究、推進



建設青年会議とは協会会員企業の若手経営者で構成される委員会、さまざまな協会事業を実際に運営する組織です。



建設業で働く若者たちに出会いの場を提供する婚活パーティー

## 戦略的広報活動の推進

広報委員会では、建設業界のイメージアップを図るために、広報誌の発行やフォトコンテストの開催、屋外広告シートの制作、ホームページやSNSを活用した情報発信を行うほか、協会が行うイベントや公益的な活動について積極的にプレスリリースを行うなど、戦略的広報活動の推進を目指しています。

### 主な広報活動

- 機関誌「夢けんせつ」の発行 年2回 各3,500部
- ホームページの更新 雇用、試験、資格取得、講習会、公共工事に関する情報などを発信
- 協会の活動をリアルタイムに発信 フェイスブックを活用して、協会や広報委員の活動をリアルタイムに発信する。
- フォトコンテストの実施 滋賀の建造物や建設現場で働く人々をテーマに撮影した写真を全国から公募、入賞作品は広報誌に掲載するほか、県内各地で展示する。
- 小中学生を対象とした絵画コンクール 「工事ではたらく機械(道路やビルなどの工事のよこす)」をテーマに、県内の小中学生から絵画を募集、次世代を担う子供達に建設業の魅力を発信する。入賞作品は、屋外シートに活用して建設業のイメージアップを図る。
- 協会建物「夢けんプラザ」を広告塔に 雇用促進のための啓発ポスターやフォトコンテストなどの募集案内、屋外シート啓発看板などを建物に掲示。
- 協会による社会貢献活動をPR 災害救援活動や防災訓練への協力、協会青年会議による清掃奉仕、滋賀県建設産業界団体連合会によるかまどベンチの普及活動などの社会貢献活動を、広報誌やフェイスブックでPR。



「おうみしごと体験フェスタ」への出席



# おしゃれで使いやすい ヨシの環境紙製品「リエデン・シリーズ」



株式会社 コクヨ工業滋賀  
滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312  
Tel. 0749-37-3611  
https://www.kokuyo-shiga.co.jp

年間1億冊以上のキャンパスノートを生産するコクヨ工業滋賀



水性ペンでも書き込める特殊な背クロスが採用されている。



おみやげになるノートという発想から生まれた「ReEDEN colours SHIGA」

コクヨグループの主力工場であるコクヨ工業滋賀は、全国で販売されているキャンパスノートのほとんどを生産する国内最大級のノート工場です。工場内には「買身身になって作りましょう」というモノづくりの精神が掲げられています。

同社が、ヨシを原料にした環境紙製品「リエデン・シリーズ」の企画・開発に取り組み始めたのは平成19年のこと。もともと手漉きで少量生産されるヨシ紙をどのように工業化するか、また、いかにコストを抑えるかという課題を解決するため、ヨシの配合率は1%とし、ノートのほか消費量の多いコピー紙などさまざまな商品に展開させていくことで、ヨシの消費と普及を図ることになりました。「REEDEN」というブランド名は、「Re=再生」「EDEN=楽園」「RED=葦」に由来しています。

「ただ環境に良い製品というだけでは消費者の心に響かないため、リエデン・シリーズでは、価格を抑えながらもデザインや使い勝手に優

れた製品開発をモットーにしています」と言う開発グループ主任の福田裕子さん。

例えば、「REEDEN colours」で、色鉛筆や水性ペンでも書き込める特殊な背クロスを開発したり、表紙を豊富なカラーバリエーションで展開しているのは、日常的に複数のノートを使う学生の意見を反映した。「表紙や背に教科名などを書いて、色分けしておく」とサクッと取り出すことができます。おしゃれで、使いやすいノートとして愛用しているものが、実は環境にも配慮した製品であったということを大切にしたいと思います」と福田さん。

コピー用紙の箱に琵琶湖の生物や植物のイラストが描かれているのは、環境に配慮したコピー用紙を使っていることを意識してもらいたいという狙いがあります。

また、地元で盛んな麻織物を表紙に使った「麻とヨシのノート」や、滋賀県ふるさと観光大使を務めるアーティストの「M.Revolution 西川貴教さんのマスコットキャラクターとコラボレーションしたノートなど、滋賀県ならではの製品開発にも取り組んでいます。

さらに、ノートを滋賀県のおみやげにという発想から生まれたのが「REEDEN colours SHIGA」で、竹生島、忍者、オオナマズなど、滋賀らしい7つのカラーを表紙に採用した製品を、観光地のおみやげ売り場や道の駅などに展開しています。

福田さんからはリエデン・シリーズの立ち上げの頃から年に2〜3回、ボランティアを募って琵琶湖畔のヨシ刈りに参加してきました。そして「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」を立ち上げ、県内企業にヨシ刈りへの参加を呼びかけたり、ネットワーク通信で情報発信を行っています。

現在、参画企業は104社。ヨ



琵琶湖の生物や植物が箱に描かれたコピー用紙



「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」に賛同してヨシ刈りに参加したみなさん

シの保全を通して「環境保全活動に興味があるが、単独ではなかなか踏み出せない」といった企業を支援し、ネットワークでつながることで、企業や団体の垣根を越えた社会貢献の輪を広げていくことが目的です。その甲斐あつてか、スタート時の平成20年は18名でスタートしたヨシ刈りが、25年には440名が参加するまでにになりました。

同社では、県内の小中高校への出前授業も実施していて、ヨシの活用や環境保全活動について紹介しています。

また、今年5月から工場見学会をスタートしたのも、同社の取り組みやものづくりへのこだわりを消費者に伝えたいという思いから。「お客様と直接接することで社員の意識も変わり、もっと良い製品を作りたいと思うようになります」と福田さん。工場見学を通じて、環境保全の大切さを発信しています。

# 夢 Interview

## 知識や経験を活かして学び合い 地域に貢献する退職シニアの会

「栗東ふあざーず倶楽部」は、定年退職後の男性の仲間づくりや地域貢献などを通じて楽しく生き甲斐のある人生にしようという目的で、平成20年に誕生しました。

「社会貢献、生涯学習、健康、遊び」という4つの理念に基づき、会員同士で教え学び合う研修会や、地域行事への参加・企画、ボランティア活動などに積極的に取り組む倶楽部の活動について、会長の西村正男さんと副会長の松井昭明さんにお話をうかがいました。



メンバーが講師を務める料理教室

健康づくりのためにやっているウォーキング



金勝寺日参道脇の「泣き地蔵」



ボランティア活動の一つ「紙芝居」

現在、会員は何名おられますか。

●松井 発足時は20名くらいでしたが、団塊の世代が退職時期を迎える頃から急増しています。現在、会員数は43名、平均年齢は約70歳です。

●西村 栗東市の人口は昭和45年には約2万5000人でしたが、宅地化が進んで現在は約6万7000人。県外から流入した人が多いため、会社に行かなくなると地元仲間がなくて、家の中にこもりがちになるため、平成19年に滋賀県社会福祉協議会の退職者フォーラムを受講した数名が、退職シニアの居場所を作ろうと活動を始めたのがきっかけです。

発足後は主にどんな活動をしてこられましたか。

●西村 定例会議と健康講座や料理教室などの研修活動を毎月行っているほか、ボランティア活動やウォーキング、スポーツ大会、交流会などの事業活動を年間計画に基づいて実施しています。

●松井 広報誌「栗東ふあざーず倶楽部だより」を毎月発行して、活動報告と活動予定の紹介をしています。

地域貢献、ボランティア活動として主にどんなことをされていますか。

●西村 老人福祉センター内の喫茶コーナーのお手伝いのほか、ウォーキングイベントや地

域の祭りのサポートや災害訓練ボランティア、共同募金の街頭募金活動などさまざまです。

●松井 昨年は金勝山（こんげやま）にある金勝寺の遊歩道の整備事業に取り組みました。間伐材を加工して階段や丸太橋を造ったのですが、資材の丸太や針金がどれくらい必要かの積算も自分たちでやりました。

そして、今年は石仏「泣き地蔵」への参道を整備しました。金勝寺の旧参道脇に通行の安全を祈願して僧が刻んだ石仏があったのですが、昭和37年頃、現在の県道栗東信楽線ができてからは通る人がなくなり、竹や草に覆われて近づけなくなっていました。この4月に3メートルほどに伸びた竹や草を刈り、間伐材で崖に階段を設けて、林道からアクセスできるよくなりました。

精力的にさまざまな活動をされていますが、運営面で気をつけておられることはありますか。

●西村 退職まで何をしていたかとか、どんな役割だったかなど問わないことです。ここではみな平等に、持っている知識や経験を出し合っ活動しています。パソコンの得意な人、料理が得意な人、個々の会員の得意分野を活かせるように、みなそれぞれの「出る幕」を作るよりにしています。



栗東ふあざーず倶楽部  
会長 西村正男さん(右)  
副会長 松井昭明さん(左)

○にしむら まさお  
○まつい まさあき  
問合先: 栗東市なごやかセンター  
栗東市安養寺190番地  
Tel. 077-554-6105 (社会福祉協議会)



間伐材で階段や橋が整備された金勝山の遊歩道





評

数人の作業する人を奥行き感をだすようなカメラアングルで撮影されたことが成功の要因だと思います。

滋賀労働局長賞  
「マンパワーできれいな橋づくり」  
森野 良彦 [滋賀県]

「もう、  
屋やで。」大野 雄子 [滋賀県]  
独立行政法人勤労者退職金共済機構  
建設退共滋賀県支部長賞



優秀賞

評

人間同士の対話・暖かみを感じられる作品であり、これからの作業において立派な仕上がりにしたいと思います。



評

子供たちの真剣な眼差しがバケットの方向に集中しています。構図が大変いいアングルで撮影されました。

一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会賞  
「いつか僕等も」教野 千景 [滋賀県]



建設業労働災害防止協会滋賀県支部長賞  
「復興に携わる」水島 脩行 [千葉県]

評

高所作業の中でカメラマンが制約されたカメラポジションの中で立派な作品として仕上げられました。

U22 特別賞



夢けんせつフォトコン実行委員会 委員長賞  
「ほとばしる元気」灘 我久 [滋賀県]

評

人物を右に寄せ、ハンドルを操作する真剣な眼差しが画面から伝わってきます。よくまとめられました。

特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞  
「雪中舗装」奥村 和弘 [滋賀県]

評

雪の中の厳しい作業ご苦労様です。このように建設で働く人々があればこそ、市民は安心して暮らせると思います。

# PHOTO 第20回 CONTEST 入賞作品

●審査員/滋賀県写真連盟 会長:永繁 昭 並びに主催者

- 主催/一般社団法人滋賀県建設業協会
- 後援/滋賀県、滋賀労働局、公益社団法人滋賀県建設業団体連合会、西日本建設業保証株式会社滋賀支店、滋賀県建設業協同組合、一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会、建設業労働災害防止協会滋賀県支部、独立行政法人勤労者退職金共済機構建設退共滋賀県支部、びわ湖放送株式会社、株式会社SIN
- 協賛/滋賀県写真連盟、滋賀県カメラ材料商組合、株式会社トミカラー

入賞作品展  
のお知らせ  
入場無料

- 10月25日(土) ポリテックビジョン滋賀  
滋賀職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ滋賀)
- 11月15日(土)~11月16日(日) おうみごと体験フェスタ  
滋賀県立文化産業交流会館または米原市米原公民館  
(滋賀県米原市下多良2丁目137)
- 11月17日(月) 滋賀県建設雇用改善推進大会  
夢けんプラザ  
(大津市におの浜1-1-18)
- 平成27年2月13日(金) 短期大学学生発表会  
滋賀職業能力開発短期大学(ポリテクカレッジ滋賀)  
(滋賀県近江八幡市古川町1414)

第一部  
「建設業にはたらく人々」  
第二部  
「滋賀の自然や町並みに  
マッチした文化財」

	応募者数	応募点数	第一部	第二部
総数	177人	317点	161点	156点
内訳	県内	104人	64点	119点
	県外	73人	97点	37点

審査後記

滋賀県写真連盟会長 永繁 昭

夢けんせつフォトコンテストも今年で第20回になり、回を重ねて応募作品も全国各地から寄せられ全国的なコンテストになったと思います。珍しい風景や作業環境の中に様々な形の作品を拝見させて頂きました。

第20回の1部・2部の上位作品はいずれも遜色なく、いい作品だと思います。来年もふるってよい作品を見せて頂きたいと思っています。

第一部  
「建設業にはたらく人々」  
(デジカメ・カメラ可)

グランプリ

滋賀県知事賞  
一般社団法人滋賀県建設業協会賞  
滋賀県写真連盟会長賞  
「高い所はおまかせ」木原 雄三 [熊本県]



評

厳しい環境の中でこれだけの作品に仕上げられた作者の力量が感じられます。ピント・構図申し分なく、いい作品です。



## 第二部「滋賀の自然や町並みにマッチした文化財」

(デジカメ・カメラ可)

グランプリ

評

大胆に4本の杉木立を中心に画面構成が良かったと思います。手前の苔霧に霞む建物、遠近感があり、グランプリに相応しい作品だと思います。



滋賀県知事賞  
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞  
滋賀県写真連盟会長賞

「朝のにない堂」岸岡 一彦 [滋賀県] <滋賀県大津市坂本>



西日本建設業保証株式会社滋賀支店長賞

「黄昏の第一疎水」

福田 尚人 [滋賀県] <滋賀県大津市琵琶湖第一疎水 取水口>

大胆な構図で成功されました。不思議な色合いが目目を惹いた作品だと思います。



滋賀産業新聞賞

「城の町」

強力 美津雄 [滋賀県] <滋賀県彦根市>

斜光線をうまく生かされて、作品として綺麗にまとめられました。ピント、露出申し分ありません。

入選



「技(手を支える)」

浅井 享累 [滋賀県]



「橋脚補修」

辻村 政幸 [和歌山県]



「景の功労者」

宮尾 憲司 [滋賀県]



「見守り六地藏」

増田 恵 [長野県]



「伝統を守る」

岸田 峯子 [滋賀県]



「オーイ新人君!休憩」

大野 政順 [滋賀県]



「高所作業」

北川 久美子 [滋賀県]



「伐採を惜しむ…」

清水 克己 [埼玉県]



「一心同体」

田中 貴之 [沖縄県]



「冷水の中」

高橋 克弥 [滋賀県]

優秀賞

奨励賞



「清掃」

吉谷 民夫 [京都府]

「もう少し上」  
上田 利明 [滋賀県]



「今日も元気で!」  
佐藤 博 [埼玉県]



「高所でのチームワーク」  
坂東 乃理子 [兵庫県]



「チーム連携で着実に」  
宇田 毅 [滋賀県]







「錦秋の金剛輪寺」  
奥居 由紀夫 [滋賀県]  
〈滋賀県愛知郡愛荘町〉



「散り行きて」  
中西 博樹 [滋賀県]  
〈滋賀県東近江市君ヶ畑〉



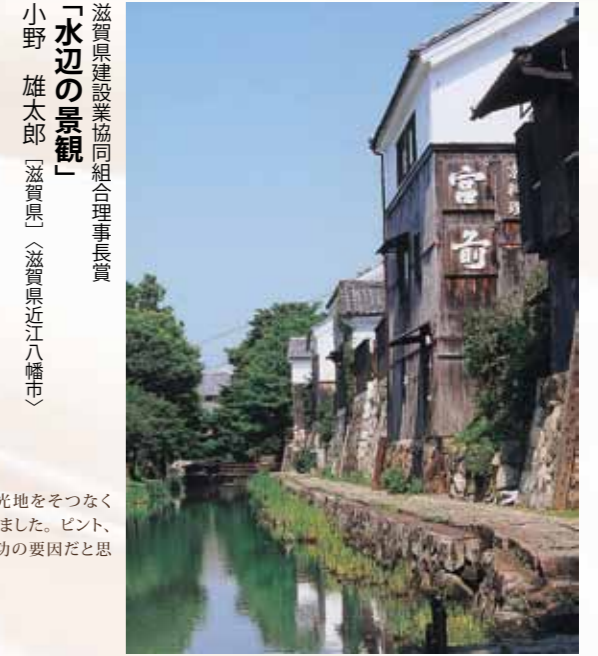
「いつも一緒に」  
藤川 絢子 [大阪府]  
〈滋賀県近江八幡市〉



公益社団法人 滋賀県建設産業団体連合会長賞  
「屋形船で夜桜見物」  
新海 正男 [滋賀県] 〈滋賀県彦根市(彦根城)〉

評  
ライトアップされた桜を写されたものですが、難しい露出の中、うまくまとめられました。特に水面に写る桜が綺麗だとおもいます。

評  
有名な観光地をそつなくまとめられました。ピント、露出が成功の要因だと思います。



滋賀県建設業協同組合理事長賞  
「水辺の景観」  
小野 雄太郎 [滋賀県] 〈滋賀県近江八幡市〉



「朝日射す疏水」  
樋口 浩司 [滋賀県]  
〈滋賀県大津市〉



「秋の彩り」  
岡 光明 [福島県]  
〈滋賀県大津市〉



「光跡」桑原 達夫  
[滋賀県] 〈滋賀県彦根市〉

ただ単に夜桜だけではなく、行き交う車の光を長時間露光でうまく動きを出されました。

BBCびわ湖放送株式会社賞  
特別賞



「山上に映える三重の塔」  
松田 竹史 [滋賀県]  
〈滋賀県近江八幡市長命寺〉

入選

奨励賞



「日本最古の駅舎(長浜)」  
大橋 伊佐男 [滋賀県]  
〈滋賀県長浜市〉



「春色旧安土巡査駐在所」  
藤沢 和美 [滋賀県]  
〈滋賀県近江八幡市安土〉



「明門」  
あけもん 鳥居 賢二 [滋賀県]  
〈滋賀県長浜市〉



「雪の長命寺」  
大町 誠一 [滋賀県]  
〈滋賀県近江八幡市〉



「近江鉄道愛知川橋梁」  
村山 哲哉 [滋賀県]  
〈滋賀県愛知郡〉



「雪の日」  
土田 忠文 [滋賀県]  
〈滋賀県愛知郡金剛輪寺〉



「雪の玄宮園」  
塩見 芳隆 [京都府]  
〈滋賀県彦根市〉



「水郷の故郷」  
林 昌尚 [福井県]  
〈滋賀県近江八幡市〉



「晴れ間」  
津田 昌壽 [滋賀県]  
〈滋賀県高島市〉



# 「顧客感動」「切磋琢磨」「自己変革」を企業理念に 顧客の信頼に応えるサービス提供を目指す

株式会社 宮本組

長浜市平方町837番地

代表取締役 宮本

武蔵



本社屋

## 県内でいち早く2×4工法を手がける

昭和51年に建築工事業として長浜市で創業した株式会社宮本組。一般住宅や集合住宅、店舗などの建築をメインに行ってきた同社ですが、平成12年10月に開館した長浜鉄道文化館の建築も手がけました。建築家吉田桂二氏設計による木造トラス小屋組工法で、長さ3メートルの国産杉の5寸丸太を組み上げたアーチ状のトラスが美しい建物です。

同社では2×4工法を県内でいち早く手がけてきたほか、さまざまなスタイルの住宅建築でお客様のニーズに対応しています。最近では、ナチヨルテイストの南欧風住宅「cees cation（カーサカリーナ）」の販売を開始、マーケティングや販売手法のノウハウを取り入れながら、新たな事業展開を行っていく予定です。

## さまざまな取り組みの積み重ねで人を育てる

平成21年に代表取締役に就任した宮本武蔵は、「21年に代表取締役に就任した宮本武蔵は、内コミュニケーションの活性化やチームワークづくりに効果を発揮すると言われています。また、「Thanks & いいねカード」を作ると、社員同士が感謝の気持ちを贈るようになり、管理職が月に20枚書けなかった場合は、ペナルティーを設けています。社員の仕事を正しく評価し、良いところや成長しているところに気付いてそれを伸ばすという目的で行われるものです。

宮本社長は、「決して劇的な効果を挙げるというものではないが、さまざまな取り組みをすることで、社内の意思疎通が円滑になり、社員のモチベーションを保つことができる。人を育てるのは時間をかけた小さな積み重ねが必要で、知恵を絞って、社員一人ひとりの良いところをいかに引き出すかを考えていくことが大切になる」と指摘します。

毎年8月に開催される長浜市のびわ湖大花火大会の日には、社屋の前に屋台を出し、若手社員が中心となってかき氷や飲み物を販売しています。「市民のみなさんと直接触れ合えるチャンスでもあり、社員同士が協力してコミュニケーションを図る場にもなる」と期待しています。

## 「顧客感動」「顧客満足」につながるものづくりを目指して

「トップ自ら変わっていかないと社員は変わらない。つねに社員から、また社外の方々から見られている」という意識で経営に臨んでいるという宮本社長。私生活では、「楽器を演奏することで脳が活性化する」ということを知って、「最近ピアノを習い始められました。

これからは家を新築されるお客様を増やすと同時に、これまで同社で家を建てたお客様



代表就任後は社内コミュニケーションの活性化に努めてきたという宮本社長



同社が受注して平成12年に完成した長浜鉄道文化館。長さ3メートルの国産杉の5寸丸太をアーチ状に組み上げた木造トラス小屋組工法で建築されている。



社長は、社員にわかりやすい経営理念を定め、それに基づく行動規範を示したいと、「顧客感動」「切磋琢磨」「自己変革」について15項目の行動規範を定めたMission Statementを策定しました。

「入社するまで、東京でまったく異なる仕事をしていたので、最初は苦労すること、戸惑うことが多かった」という宮本社長は、代表に就任してからできるだけ社員とのコミュニケーションを図り、社員一人ひとりの人間性を育てる人材育成を大切にしてきました。「価値観や仕事に対する考え方もどんどん変化していく中で、いかにコミュニケーションを円滑に図る、同じ目標に向かって切磋琢磨していくかが課題になる」と考えています。

同社では毎週月曜日の朝礼に、社員全員で「Good & New」という短いスピーチを実施しています。

これは、この一週間の間に自分のまわりで起きた「よかったこと」や「新しい発見」を発表するというもので、よいことや新しいことを探すようになると自然とポジティブになり、社様へのアフターサービスやメンテナンス、リフォーム、建て替えなどの需要を掘り起こしていくことが経営課題となります。

定期的に発行している社員手づくりの情報誌「エムス通信」をお届けしたり、年末のカレンダー配りなど、顔の見えるお付き合いを実践しているほか、現場見学会やショールームを見学するバスツアーなど、お客様の住まいづくりに役立つイベントを行っています。

そして、今後も品質やサービスの向上に取り組み、定期的なフォローを充実させながら、「顧客感動」「顧客満足」を実現するものづくりをモットーに、地域密着型で顧客に信頼される企業を目指していきたいとしています。



社員手づくりの広報誌を発行するほか、現場見学会やお客様向けのバスツアーなど、お客様と顔の見える関係づくりを大切にしている。



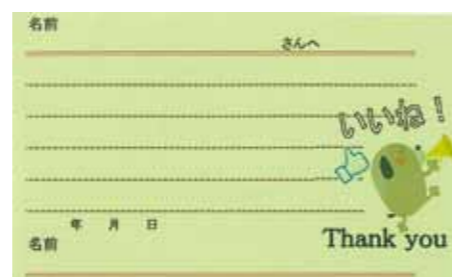
住宅相談会開催



宮本 武蔵社長



2×4工法を得意とし、さまざまなスタイルの住宅建築でお客様のニーズにきめ細かに応えている。



仕事でがんばったことを評価したり、感謝の気持ちを伝えたい時に、社員同士で贈り合う「Thanks & いいねカード」。相手のよいところを探し、認め合える人間関係づくりに効果が期待できる。





## 仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

### 奥の深い心のスポーツ “競技射撃”に魅せられて

株式会社 大伴組 大伴 浩史

「集中力や精神面のコントロールが要求される奥深いスポーツ」とクレ射撃の魅力を語る大伴さん



父が狩猟をしていたこともあって、25歳くらいから免許を取って狩猟を始めました。競技射撃を始めたのはそれから3〜4年後のことです。猟銃の取り扱いが年々厳しくなり、狩猟に出かける機会が少なくなりました。そこで、徐々に競技のほうにシフトしてきました。今は競技中心ですが、大津市の鳥獣被害対策実施隊として、有害鳥獣の駆除などに協力しています。植林や田畑を荒らす有害鳥獣が増えているにもかかわらず、高齢化などで猟をする人が減っていますので、出動要請を受ける回数も多く、昨年は1年で100頭ほどのイノシシやシカを駆除しました。

競技射撃（クレ射撃）は、クレと呼ばれる素焼きの皿を撃ち落として、その枚数によって点数を競うスポーツです。私がやっているのは、クレが飛び出してから銃を構えて撃つ



素焼きの皿を撃ち落として、枚数によって点数を競うクレ射撃



9年連続で滋賀代表として国体にも参加している。

「スキート」という競技で、0.001秒というレベルで一連の動作を行うため、競技中は極限に張りつめた状態が続きます。そのため、競技射撃は心のスポーツと言われるほどで、集中力や心理面のコントロールが大切になり、それだけに奥の深い魅力があります。

残念ながら日本ではそれほどメジャーなスポーツではないため、競技環境には恵まられていません。滋賀県内にあった射撃場も閉鎖されたため、練習には大阪まで出かけています。なんとか、射撃場を復活してほしいと、いろいろ働きかけをしていく予定です。競技人口を増やすことも課題です。

9年連続で滋賀チームのメンバーとして国体に出場しています。仕事との兼ね合いもあって、なかなか思うように練習できないのが悩みです。なんとか和歌山で開催される来年の国体にも出られるよう、がんばりたいと思っています。高齢になっても続けられるスポーツなので、細く長く楽しんで続けていきたいと思っています。



解説を参考に四文字熟語を完成させて回の漢字を組み合わせてください。

ヒント 特集「話題の焦点」

1. 十分把握していること。わかりきっていること。

細  知

2. 一生に一度しかない出会い。一生に一度限りのこと。

一  一

3. よい行いをすればよい報いが、悪い行いをすれば悪い報いがあるということ。

因  応

4. 果てしなく広くて大きいこと。

無  辺

5. 大相撲興行で満席の時に出す表示。

満

### 鎧塚堤（大津市）

●大津市田上森町若女谷

田上山一帯は、かつては檜やヒノキに覆われた美山でしたが、奈良時代から続いた伐採で荒廃が進み江戸時代には一本の木もない山となっていました。保水力のない山からもろい花崗岩の土砂が流出して瀬田川や淀川の河床に堆積し、度々洪水を引き起こしたことから、明治に入って本格的な砂防工事が行われるようになり、土砂の流出を防ぐのに効果の大きい砂防堰堤が、西洋の技術を取り入れながら多数建設されました。



その中の一つ鎧塚堤は、洗堰付近で瀬田川に合流する大戸川の支流である天神川の若女谷に設けられています。明治22年に建造された鎧塚堤は現在も現役で、堰堤の上流には瀬



田川砂防最大規模の堆砂地、延長約350mの「阿弥陀河原」が広がっています。

細長い切石を縦横に交互に並べながら、11段の階段状に積み上げた石積み特徴で、長さ約9m、高さは6.8m、最上部（天端）の幅は22m。切石は周辺の山中で採取された花崗岩と考えられています。切石を階段状に積んだ堰堤は、鎧塚堤他には全国で2例しか現存していないといわれています。

設計者は同じ田上山の草津川上流にあるオランダ堰堤を設計した、内務省土木局の技師 田辺義三郎で、ヨーロッパの土木技術を日本に伝え



明治22年に建設され、今も現役の鎧塚堤



は、土石流などに対応できるようにと、昭和35年に建設されたものです。

鎧塚堤の10m下流に昭和35年に建設された新鎧塚堤



たオランダ人技師者ヨハネス・デーレーケの指導を受けて設計したものです。

滋賀県で2番目、全国でも15番目に古い砂防堰堤の記念碑的な存在として、平成元年に「日本の産業遺産300選」に選ばれています。

鎧塚堤の10m下流にある新鎧塚堤

完成後間もなく新鎧塚堤が満砂状態となり、鎧塚堤はすっかり砂に埋もれてしまいました。山腹工事（植樹）が行われて土砂の流出が減少し、下部の水抜き穴から砂が抜けたことで、再び姿を表わしたという経緯があります。

また、下流にある迎不動堰堤は、日本とオランダの交流400年を記念して、平成12年に建設されたもので、オランダ堰堤風の石積みのデザインが採用されていることから「新オランダ堰堤」とも呼ばれています。

迎不動近くの林道から迎不動堰堤、新鎧塚堤を経て鎧塚堤までは往復1時間ほど、ハイキングを楽しみながら砂防工事の歴史的建造物を訪ねることができます。



日本とオランダの交流400年を記念して鎧塚堤風に造られた迎不動堰堤

【鎧塚堤】JR石山駅から産産バス「アルプス登山口もみじが丘行き」または「アルプス登山口石居行き」に乗り、「アルプス登山口」下車、徒歩約55分



前号の答え  
アクア琵琶

パズル&クイズ当選者

- 西村 忠員さん
- 丹治 徳彦さん
- 藤波 喜競さん
- 川口美保子さん
- 松居 京子さん
- 吉岡 武男さん
- 生田 政彦さん
- 辻 清美さん
- 辻 美穂子さん
- 平地 雅子さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるって応募ください。
- 別のハガキにて応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り  
平成27年1月20日必着
- あて先  
〒520-0801  
大津市におの浜一丁目1-18  
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

取材ごぼれ話

ここでしか買えない商品もあるおみやげコーナー

ノート生産量日本一を誇る株式会社コクヨ工業滋賀では、今年5月から工場見学ツアーを月2回のペースでスタートしました。



お馴染みのキャンパスノートが生産されている。

多くの人が一度は使ったことのあるキャンパスノートの生産設備や、環境対応設備の見学、品質へのこだわりを体験できるというところで、毎回定員いっぱい参加希望者がある人気の工場見学ツアーです。

今回は、選ばれた広報委員3名で、ビジネス最前線にて取材



毎回大好評の工場見学ツアー



さて、工場内は5Sが非常に行き届いた状態に保たれているだけでなく、JPOBONシリーズのデザイナーさんの手による標語や啓発垂れ幕、従業員同士のコミュニケーション情報がいいたるところに掲示されており、非常に明るく活気あふれる職場になっていました。

ふと視界に入ったのは、「魅せる工場」というスローガン。我々の業界でも「現場の見える化」を推進していますが、ここでは一歩進んで「魅せる」ことを意識されているようです。我々もまだまだ認識が甘いですね。

工場見学の後はちょっと驚きの実験があったり、工場限定商品の販売もあります。興味のある方は参加されてはいかがでしょうか？

〈ツアーの概要〉

見学内容／概要説明、製造工程ビデオ、工場見学、体験アトラクション、お土産、商品販売  
 開催日時／毎月2回開催 ※ホームページ営業カレンダー参照  
 所要時間／約90分  
 参加費／100円(税込)小学生以下無料 ※全額、琵琶湖を中心とした環境保全活動に活用されます。  
 定員／25名(1回あたり) ※完全予約制  
 申込方法／ホームページの工場見学ツアー申し込みフォームより申し込みます。  
 ホームページ／[https://www.kokuyo-shiga.co.jp/csr/kps\\_factorytour/](https://www.kokuyo-shiga.co.jp/csr/kps_factorytour/)  
 問い合わせ／TEL:0749-37-8017(営業日の9:00~12:00、13:00~17:00)



見学の最後はトリックアートで記念撮影

夢けんひろば

統一看板や作業報告書を作成 支部一丸となって協会の「美知メセナ」事業をサポート



伊香支部統一デザインで製作された看板

「美知メセナ」は、滋賀県が管理する道路をその近隣にある会社や事業所が登録企業となつて、月一回以上除草や植栽の剪定、清掃活動などを行うもので、企業名やスローガンなどを表示した看板(美知メセナ表示板)を設置して、活動内容をアピールすることができ、各登録企業・事業所が自主的に管理を行っているため、作業報告などを県に提出していない登録者もあり、管理状況にもバラつきがあることが指摘されていました。

登録企業ごとのバラつきを小さくするために、滋賀県建設業協会伊香支部では、今年度から支部全体の社会貢献活動とし、今年度から一体化した取り組みとして実施することになり、支部で統一した看板や作業報告書の統一フォーマットを作成しました。



支部一丸となって「美知メセナ」の推進に取り組んでいる。



「会員数18社という小さな支部なので、大きな事業を行うのは難しい。普段から実施していることを充実させて、支部一丸となって取り組んでいることをアピールしたいと考えた」と言う湯本聡支部長。

会員が担当する道路は支部がパトロールして管理状況をチェックし、できていないところはサポートし合えるような仕組みを整えることで、確実に事業を実施できるようにしていく予定です。



After Word

今回は滋賀県建設業協会の会長が変更になり、新体制となって最初の「夢けん」発行です。

我々広報委員会のメンバーも若干の変更はありますが(女性メンバーも参入しました!)、新旧メンバー揃って和気藹々ムードで活動を開始しております。

協会長のお話にも関連しますが、我々の役割は防災・減災やインフラの整備といった公益性の高い事業を担う建設業界の重要性を皆さんに知っていただくための広報活動です。

建設現場の仕事は確かに大変ですが、現場の人間は強い誇りとやりがい、そしてモノづくりの楽しさを感じながら、日々仕事に従事しています。そんな建設業界の魅力を発信し、次世代を担う若者に夢や希望を与えられる業界になるために、皆さんの意見を頂戴しながら進めていきたい所存です。

さて、フォトコンテストも無事終わり、今度は絵画コンクールの審査です。今でもたくさんの応募をいただいておりますが、もっともっとアピールして更に大きなものにしていきたいですね。以前はBBCさんの番組に出演させていただきましたが、今回はどうでしょうか…。やるべきことの議案は山積みですが、何より我々が楽しくなければいい仕事はできません。楽しい議論をするために、そろそろ懇親会の日取りでも決めませんか!

今回の「夢けん」も楽しさを前面にして発行させていただきます。ご期待ください!



そば処 藤村(東近江市)

東近江市長町116  
 TEL&FAX: 0749-45-0039  
 定休日: 月曜(月曜が祝祭日の場合は月曜営業、火曜休み)  
 営業時間: 平日11:30~16:00 (売り切れ次第終了)

取材の途中、美味しいと評判の「そば処 藤村」に立ち寄りしました。店舗は趣きのある建物で、天井が高くゆつたりと落ち着いた雰囲気。長野県で修行を積んだご主人が、吟味して仕入れたそばの実をその日使う分だけ石臼でひいて丁寧にうつつそばが、そば好きを魅了しているそうです。

十割そばが運ばれてくると、撮影とおしゃべりに忙しい二行でしたが、「どんだん味が変わりますから、お早めにどうぞ」というご主人の言葉で我々に返りました。つなぎを使っていないのですぐにのびて、味が落ちてしまふとのこと。

十割そばというのと、もつとそばとした食感をイメージしていたのですが、こちらはつやつやとなめらかなコシもあり、つる



つやつやとなめらかな十割そば

もちもちした食感のそばがき

つると爽やかな喉越しです。しめに運ばれてくるとろりと濃厚なそば湯、デザート?として注文したふんわりと柔らかい丸いそばがきをいただき、そばの旨味と風味を堪能することができました。

遠くから楽しみに通ってくるお客さんが多いということに納得しながら、店を後にしました。





一般社団法人 滋賀県建設業協会  
[www.yumeken.or.jp](http://www.yumeken.or.jp)